

・今回の講義から、前文に大切な内容が書かれているのは、内容を簡潔に伝えるという役割だけではなく、もし急なニュースが飛び込んできた時、少し本文を削り、そのニュースをしっかりと入れられる場所を確保するためでもあるということを知った。そういう細かなところまで工夫をして、読者に最新の裏付けのある情報を伝えているんだと思うと、新聞の特徴や工夫、情報を吟味することはとてもためになるのではないかと思った。また見出しや本文だけでも情報が得られるという特長があるため、時間がなくても触れやすいし、スマートフォンでも電子新聞などがあり、昔よりも若い世代も使いやすいようになってきたと思うので、子どもたちに教える立場になるまでに自分もしっかりと情報に触れ、疑いを持ちながら得て、自分の考えを持つということをしていかなければいけない。

実家では新聞を購読し、毎日読むことはなかったが、中学の時、朝の会で1分間スピーチという自分が気になった記事を見つけて要約し、それに対する自分の意見を書くという、新聞に触れる機会があった。前文に大切な内容が入っていることや、見出しや前文を読むだけでもなんとなく内容がわかるなどの新聞の仕組みを知っていれば、もっと楽に気軽なものとして普段から読めていたのかなと思う。だからこそ、小学校の段階から新聞というひとつのメディアに触れて、その特長や仕組みを知り、日本や世界のことに目を向け、それに対する自分なりの考えを持つという機会を作るとはとても大切だと自分の経験から思う。

各新聞社によって違う見出しや写真、本文を比べてみたり、写真を見て思ったことや分かったことを共有したり、行事など自分たちが体験したことから新聞を作ってみたりと新聞ひとつでもさまざまな授業展開ができることを学んだ。各学年に応じて難易度を変えながら、新聞に触れていけるような授業をしたい。

・今回の講義で、社会の授業における新聞の活用方法には新聞作りや新聞が出来上がるまでの流れを学習したりだけではなく、新聞を使ってワークシートに取り組むといったやり方を知って面白いと思い、自分ならどのようなワークシートに取り組むのかを考えてみました。ワークシートを通して取り上げた記事の内容を知ることができるのは深い学びの一歩になるのではないかと思ったので、できれば社会の授業があるたびに行いたいです。その時期ならではのもの、世界中で話題となっている時事問題、地元ならではの記事などを用いたワークシートを授業の最初の10～15分

ぐらいで行えたらと考えます。

また授業内容に展開しやすいように学習する単元内容に関連する記事を探し、授業内容に入っていくということも新聞を活用してできることだと思います。

他の新聞活用方法は、インターネットで「教育に新聞を」というサイトから調べたところSDGsに関する新聞記事を通してSDGsへの理解を深め、持続可能な社会について自分たちができることは何かを考えるといった活動例がありました。この活動の領域学年は中学校 3 年生ですが、加古川市の小学校が実際に行っていて児童たちは積極的に意見交換ができ、学級全体で考えることができたと述べていました。しかし小学生にとってSDGsに対して自分にできることは何かを考えることは少し難しく、小学生全員がSDGsのことについて知っているのか分からないので、SDGsとは何かを知るだけでも学びになると考えます。SDGsに関する記事を選んでSDGsとはどういうものなのかを知り、そこから17種類ある目標を元にさまざまな新聞記事を探し、探した記事が17の目標のどれに該当するのかを考えるといった活動ができるのではないかと考えます。例えば、飢餓をなくすための活動内容の記事は目標2の「飢餓をゼロに」に該当し、内容によっては3の「すべての人に健康と福祉を」にも関連づけられると思います。